

# 社会貢献活動

## 社会貢献の3つの柱

当社およびグループ各社は、社会の健全な発展に貢献する企業集団を目指し、「良き企業市民」として社会貢献に努めています。

特に「福祉活動」「国際協力」に重点を置き、これらの分野で専門的な活動を行っている民間非営利組織(NPO)との連携を図りながら、広く内外社会の発展に貢献する活動に取り組んでいます。また、社員一人ひとりが社会に関心を持ち、自らの見識を深めながら、積極的に課題解決に取り組んでいくことが大切であるとの考えから、「社員のボランティア活動」を積極的に支援しています。

これからも、当社およびグループ各社では、すべての社員とともに豊かな社会の実現を目指して社会貢献活動に取り組んでいきます。

## 福祉活動

豊かな社会の実現に貢献するための福祉活動を行っています。

### 書き損じはがきの寄贈

当社では、グループ各社の社員から「書き損じはがき」を募集し、未使用切手に交換のうえ、ボランティア団体に寄贈しています。

### 災害義援金受付口座の開設

三井住友銀行では、国内外での大規模災害発生時に、振込手数料無料の義援金口座を開設し、お客さまからの募金受付を行っています。また行内、日本総合研究所でも社員に対し募金の呼びかけを行っています。

### 三井住友銀行ボランティア基金

有志社員の給与から毎月一律100円を天引きして、災害や経済的困難等にかかわる援助を行うボランティア団体等への寄付を行っており、約9,600人が加入しています(平成18年6月現在)。平成17年度の取り組みは以下のとおりです。



\*カンボジアで、経済的な理由で治療を受けられない子供を対象に、無償で診療や投薬を行う病院で使用する医療機器の購入費用の一部を寄付しました。



\*バングラデシュの農村を、識字教育や衛生改善、収入向上活動等により支援するプロジェクトに寄付しました。



\*子供向けの本が非常に不足しているカンボジアで、現地の民話絵本「クメールのクロマー」の出版と先生の読み聞かせ研修会にかかる費用を寄付しました。



\*フィリピンのパラワン島の少数民族に、安全な水を供給することを目的とした水資源開発プロジェクトの費用を寄付しました。



\*経済的な理由などで就学できない中国農村部の女子児童に奨学金を寄付しました。



\*アフガニスタン北部で、紛争や地雷により被害を受け障害を負った人々への治療費用を寄付しました。



\* 経済的な理由などで就学できないラオスとカンボジアの小学生に奨学金を寄付しました。



\* マラリアや結核などの感染症が蔓延するハイチ共和国のスラム地域にある保健センターに、運営費を寄付しました。



\* 子供向けの本が非常に不足しているラオスで、学校図書室の開設と子供の情操教育を行う子供文化センターの運営費用を寄付しました。



\* アフリカのエリトリアで、トラクター組合の運営を通じた帰還難民女性世帯の自立支援事業の費用を寄付しました。



\* ミャンマーで、女性への保健・衛生・識字教育や、裁縫技術訓練などを通じた自立支援事業の費用を寄付しました。

\* 緊急災害支援として、以下の寄付を行いました。

- ・平成 17 年 8 月に発生した米国ハリケーン「カトリーナ」の被災者義援金。
- ・平成 17 年 9 月に発生した台風 14 号の被災者義援金。
- ・平成 17 年 10 月に発生したパキスタン地震の被災者義援金。
- ・平成 18 年 5 月に発生したジャワ島地震の被災者義援金。

### 未使用テレホンカードの寄贈

三井住友銀行では、毎年、社内で「未使用テレホンカード」を募集し、ボランティア団体に寄贈しています。

### 使用済み切手、使用済みプリペイドカードの寄贈

三井住友カードでは、毎年、社員から「使用済み切手」「使用済みプリペイドカード」を募集し、ボランティア団体に寄贈しています。

### チャリティーコンサート「名曲のおもちゃ箱」の開催



三井住友銀行では、平成 18 年 5 月、戦争や災害で傷ついた世界の子供たちを支援するためのチャリティーコンサートを開催しました。行内の音楽クラブである合唱団、室内合奏団、吹奏楽団が、クラシックからアニメソングと、大人から子供まで楽しめる多彩な音楽を演奏し、会場では募金受付のほかチャリティーグッズの販売、世界の子供たちから寄せられた絵画の展示などを行いました。

### 商品パンフレットの音声化



三井住友銀行では、平成 18 年 4 月、目の不自由な方や高齢の方が音声で商品情報を聞くことができるパンフレットの音声化を、銀行業界で初めて導入しました。パンフレット「三井住友銀行サービスマップ」に印刷されている音声読み上げ用の SP コードを専用の読み取り装置「スピーチオ」で読み取ると、商品情報が音声で流れる仕組みとなっています。

### 子供向け経済教育プログラムへの参加



三井住友銀行は、平成 17 年 6 月より中学生向けの経済教育プログラム「ファイナンスパーク」に協賛しています。ファイナンスパークは、金融・通信・レストラン・スー

パーなどさまざまな業種の協賛企業が、東京都品川区にある中学校の空き教室を利用して実際の店舗を模したブースを出店している架空の町で、経済教育団体ジュニアアチーブメント日本本部と品川区が共同で運営しています。生徒たちは、あらかじめファイナンスに関する基礎的な知識を学んだうえで、パーク内の各ブースでさまざまな経済活動を体験学習し、経済的な思考を養います。

### 障害者製作製品の社内販売会



三井住友銀行では、障害のある方が製作したお菓子や雑貨類の社内販売会を本部ビルにて行っています。

## 国際協力

国際社会の発展に貢献する活動を行っています。

### ユニセフ(国際連合児童基金)への支援

\*三井住友銀行は、ユニセフ外国コイン募金実行委員会のメンバー企業として、同募金活動の運営に協力しています。当行の国内本支店・出張所の店頭で「外国コイン募金箱」を設置して協力を呼びかけ、集まった募金はグループ会社SMBCグリーンサービス(株)の協力を得て各国通貨別に仕分けし、ユニセフに送っています。活動を開始した平成4年からの募金総額は実行委員会全体で5億3,000万円にもなっています(下図ご参照)。

また、普通預金の税引後利息をユニセフに寄付していただく「ユニセフ愛の口座」を取り扱い、三井住友銀行でもお客さまと同額の寄付をしています。

\*三井住友カードでは、VJAの会員向けポイントサービス「ワールドプレゼント」を通じて、カード会員の方からの寄付金を毎年日本ユニセフ協会へ寄付しており、同制度を開始した平成4年からの募金総額は2億3,000万円にもなっています。また、「ユニセフVISAカード」や「赤い羽根VISAカード」など社会貢献型カードを発行し、各団体の活動資金として、カード利用額の一部を寄付・還元することで、よりよい社会づくりに貢献しています。

### SMBC GLOBAL FOUNDATION

アジア各国の大学生への奨学金支給を主な目的として設立された同財団の活動も10年を迎え、これまでこのべ5千人以上の学生を支援してきました。また、アジアに限ることなく、米国などにおいても、教育・文化といった分野での地域貢献活動を盛んに行っています。

### 三井住友銀行国際協力財団

開発途上地域の経済発展に資する人材の育成および国際交流を目的とし、財団設立当初から15年間にわたり、のべ34人のアジアからの留学生に奨学金を支給しています。また、発展途上国に関する研究機関・研究者への助成を行っています。

## ~外国コイン募金活動への取り組み~



外国通貨による募金を三井住友銀行の店頭募金箱で受け付けます。



全国の空港などから集められた外国通貨とともに、三井住友銀行グループ会社SMBCグリーンサービス(株)に送られ、各国通貨別に仕分けします。



©UNICEF

「ユニセフ外国コイン募金実行委員会」各社の協力により、外貨を各国の銀行に輸送し、米ドルに換金した後、ユニセフを通じて世界の子供のために使われます。

## 社員のボランティア活動支援

社員自らが行うボランティア活動を支援しています。ボランティア活動によって社会に対する見識がより深まると考えています。

### ボランティアスタッフYUI(ゆい)の活動

三井住友銀行では、社員自らが企画立案を行う社内ボランティア組織「YUI」の支援を行っています。名称は江戸時代に共同で農作業を行う「結」に由来し、さまざまな人との「つながり」を大切にしたいという気持ちが込められています。平成17年度は以下のような活動を行いました。



\* 耳の不自由な子供たちが通う小学校で、平成14年度より半年ごとに、パソコン教室を開催し、筆談や手話で説明しながら、子供たちにパソコンの操作方法を教えています。

\* 社員から集めた物品をバザー会場で販売し、売上金をボランティア団体に寄付する活動を平成13年度より毎年行っています。

\* 在宅サービスセンターに通う高齢者の方に歌を披露していただく晴れの舞台を演出するイベントを、平成14年度より毎年開催しています。

### 手話講習会の開催

三井住友銀行では、耳の不自由な方への理解を深めることや業務を通じた社会貢献として店頭でのお客さまサービスの向上を目的とし、平成9年度より毎年、手話講習会を開催しています。平成17年度は126名の有志社員が受講しました。また、平成17年より、耳の不自由な講師による日常生活での感じ方等に関する講演会を、手話通訳士による通訳のもとで開催しており、平成18年4月には有志社員453名が参加しました。受講後は、店頭でのお客さまとの会話や、手話を使ったボランティア活動への参加など、各自の受講成果をさまざまに活かしています。



### ボランティア体験講座の開催

三井住友銀行では、社員が業務後や休日を利用して気軽にボランティアを体験できるイベントを開催しています。平成17年度の取り組みは、次のとおりです。このほかにも、ボランティア活動に関する各種情報を社員に案内し、積極的な参加を呼びかけています。



\* 盲導犬、介助犬、聴導犬のデモンストレーションなどを通して、補助犬への理解や障害のある方のサポートの方法を学ぶ親子参加のイベントを開催しました。



\* 世界中で災害、戦争、経済的困難等に苦しむ子供たちの現状やユニセフ外国コイン募金の取り組みについて学ぶ、親子参加の国際協力セミナーを開催しました。



\* 悩みや不安のある方の気持ちに寄り添って話を聴き、相手をありのままに受け入れることで心を癒す「傾聴ボランティア」を学ぶイベントを他社との共同で開催しました。

### 地域クリーンアップへの参加



\* 平成18年4月、三井住友銀行の有志社員約180名が、東京都の荒川河川敷において、清掃活動と河川の水質調査を実施しました。



\* 三井住友銀リースでは、大阪本社の社員が自主的かつ継続的に御堂筋の早朝清掃を続けるなど、地域の美化に貢献しています。